

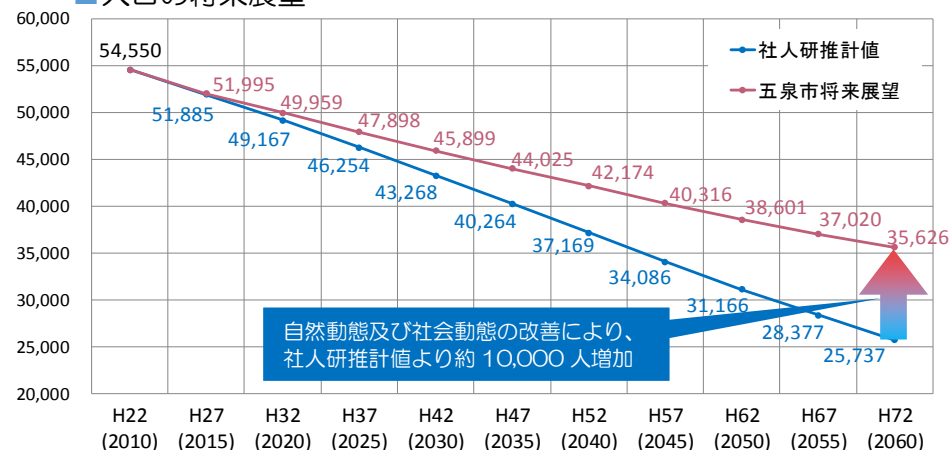
五泉市人口ビジョン

平成72(2060)年には、人口35,000人を維持！

人口の推移とその背景分析を踏まえて将来の姿を示し、人口減少問題に関して市民と認識の共有化を図るとともに、今後の本市の取組むべき方向性を提示するため、「五泉市人口ビジョン」を策定しました。

産官学金労言が一体となって総合戦略を推し進めることにより、平成72(2060)年の人口35,626人を目指します。

■人口の将来展望



【人口推計の考え方】

①自然動態の改善（出生率の向上）

合計特殊出生率を、平成25(2013)年現在の1.35から、平成52(2040)年に2.07に！

②社会動態の改善（人口の社会減の改善）

ア) 女性を中心とした若年層の転出抑制

- 結婚機会の創出、子育てや教育環境の充実・改善により、若年層（特に女性）の転出超過の抑制を図ります。

イ) 住宅を理由とした転入の促進

- 多様なライフスタイルに応じた住環境の整備により、若い世代の定住促進を図ります。
- 住宅取得支援により、転入者の増加を図ります。

ウ) 産業活性化による転出の抑制・転入の促進

- 農業や製造業の振興、新規就労の場の確保により、転出を抑制します。
- 就農・起業支援により、転入を促進します。

エ) その他

- 連携中枢都市圏に関する協議を進め、道路網の充実などにより、生活の利便性向上を図ります。
- 市民平均所得の向上など、市内の就業環境の改善・魅力化を図ります。

③交流人口の拡大による地域の活性化

本市の観光資源の活用、また近隣市町村との連携により、交流人口の増加を図り、地域のにぎわいや活力の創出につなげます。

■計画の策定にあたって

人口減少対策を含めた地方創生に関する計画に対し、幅広く市民の意見を反映させるため、市民・各界の代表で構成する「市民検討委員会」のほか、「今後のまちづくりのための市民アンケート」、子育て世代による「子ども子育て市民ワークショップ」を実施しました。



市民検討委員会



子ども子育て市民ワークショップ

五泉市 まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略 概要版

作成：平成27年10月

【お問合せ】

五泉市企画政策課

〒959-1692 五泉市太田 1094 番地 1

TEL: 0250-43-3911 FAX: 0250-42-5151

Mail: kikaku@city.gosen.lg.jp

国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、人口減少の克服と将来に向けた持続的発展のため、「五泉市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略」を策定しました。

五泉市の人口動向

2060年までに人口が約半数まで減少 ※4ページ参照

本市の人口は、平成22(2010)年現在で、54,550人。2060年には25,737人にまで減少すると推計されています。

全国よりも20年早い人口減少

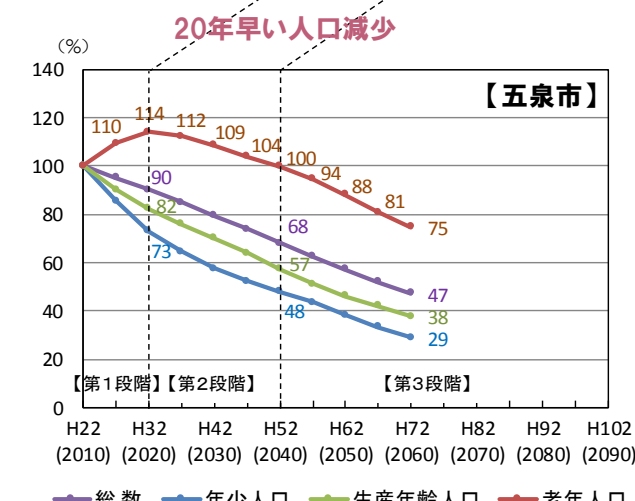
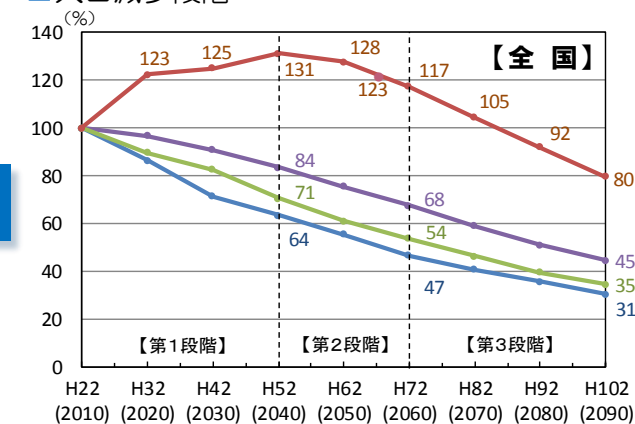
一般的な人口減少の3段階をみると、本市は全国よりも20年早く人口減少が進みます。

■人口減少段階

段 階	傾 向	
第1段階	老年人口の増加	生産年齢・年少人口の減少
第2段階	老年人口の維持・微減(90%)	
第3段階	老年人口の減少	

※「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定に向けた人口動向分析・将来人口推計について（内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局）

■人口減少段階

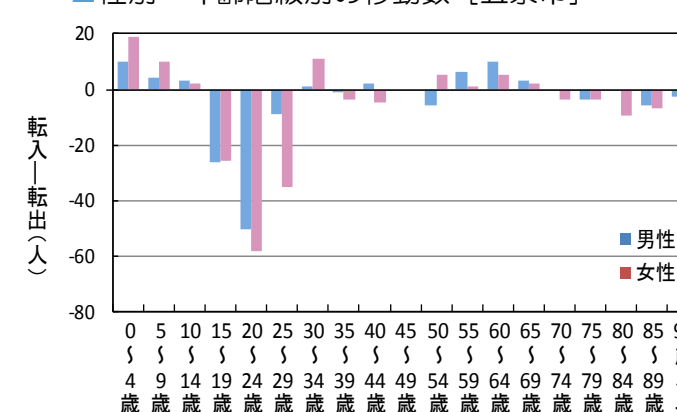


※国立社会保障・人口問題研究所推計値を利用して作成
※五泉市、全国ともに H22 の値を100とした場合の指数

若い女性の転出超過

10代後半から20代の転出が多く、特に20代女性の転出が多くなっています。

■性別・年齢階級別の移動数 [五泉市]

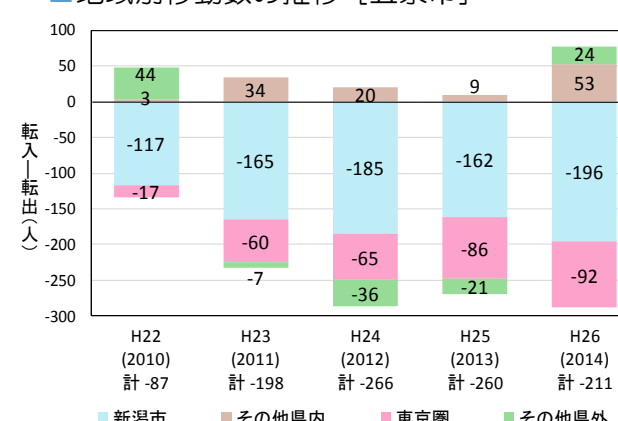


※住民基本台帳人口移動報告 (H25) より作成

転出先のメインは新潟市

転出先のほとんどが、県内では新潟市、県外では東京圏となっています。

■地域別移動数の推移 [五泉市]



※新潟県の人口移動より作成

「五泉市総合戦略」は、「五泉市人口ビジョン」を踏まえ、本市の「まち・ひと・しごと創生」に向けた目標や施策の基本方針、具体的な施策、事業及び数値目標をまとめたものです。

総合戦略の基本体系と数値目標

【総合戦略における将来都市像】

ごせんで育ち、ごせんが育つ。

～ みんなで創る 四季彩のまち ～

「子育てしやすいまち」、「子育てするなら五泉市」をアピールするとともに、総合戦略の取り組みを進めることに伴う本市の活力や魅力の向上など、もたらされる効果により本市自体が「成長」し、「進化」するイメージ。

【将来都市像を具現化するツール】

讀多産（サンタさん）プロジェクト

誰もが安心して妊娠、出産、子育てができる環境を整備し、「多産」の望みがかなう社会の形成を目指します。そして「多産」がもたらす人口の増加、活気、賑わいの創出を讀るとともに、これに伴い新たな産業や雇用、あるいは夢、希望などが好循環によって多く産み出される“未来の五泉市”を創造します。

基本目標		Ⅰ 未来世代を守り育てる 五泉の将来を担う子どもを産み、育て、守りやすい環境をつくる		Ⅱ 産業の活力を高める 五泉の強みを活かし、産業振興と雇用創出を図る			Ⅲ 五泉の魅力をつなげる 多彩な交流・連携を通じて、五泉の魅力を絶えまなく発信していく		Ⅳ 確かな暮らしを充たす 五泉の地域性を活かし、豊かで充実した住み心地を保つ			
目標の方向性		若い世代が希望通り結婚し、安心して子どもを産み育てることができるよう、出会いから結婚、出産、子育てに至る切れ目のない支援を充実するとともに、職場や地域など、社会全体で子育てを支える環境づくりを進めます。		豊かな自然と確かな技術力の中で培われてきた五泉の産業を更に強化し、ブランド力の向上や販路拡大、雇用の創出を図ります。			既存の地域資源や人材を最大限に活かし、持続可能な交流の輪を広げ、市外からの吸引力を高めます。また、五泉ブランドの認知度を高めるための広報戦略を展開し、産官が一体となって地域の経営力を培います。		誰もがいきいきと安心して暮らすことのできる五泉市を未来につなげるため、地域コミュニティの強化や地域を担う人材の育成、健康づくりの推進に努めます。			
基本方針		1 結婚・出産・子育てまでの切れ目のない支援		2 教育の充実		1 五泉ブランドの競争力強化	2 産業振興と就業環境の創出	1 地域の特性を活かした交流の推進	2 地域の魅力を活かした移住の推進	1 未来へつながる安全・安心なまちづくり		
数値目標	指標	出生数		将来の夢や目標を持っている生徒の割合（中学校3年生）		農産特産物販売額 （米を除くJA新潟みらいの販売額）	製造業全体の出荷額 （従業員4人以上の事業所）	市民一人あたりの所得 （納税義務者）	観光客入込数	転入者数	自主防災組織率	3大死因による死亡率（人口10万人あたり） ①悪性新生物、②脳血管疾患、③心疾患
	基準値	299人 （H26年度）		73.6% （H26年度）		790,967千円 （H26年度）	95,697,340千円 （H25年度）	2,321千円 （H26年度）	742,008人 （H26年度）	893人 （H26年度）	31.5% （H27.4.1）	①359人、②180人、③212人 （H23～H25年度における平均値）
	目標値	1,750人 （H27～H31年）		90% （H31年度）		850,000千円 （H31年度）	98,000,000千円 （H31年）	2,410千円 （H31年度）	816,000人 （H31年度）	947人 （H31年度）	47.0% （H31年度）	①340人、②144人、③175人 （H31年度）
施策・主な事業		基本方針1-①出会いの場の創出 結婚を希望する男女の出会いの場となるイベントやセミナーなどを実施し、未婚や晩婚化への対策を強化します。 事業 ●ごせん出会い応援事業 ●縁結び支援事業 読多産(サンタさん)プロジェクト 基本方針1-②出産・子育ての負担軽減 読多産（サンタさん）プロジェクトとして、子育て世帯への負担軽減に向けた子育て支援施策の強化を図ります。 事業 ●第3子以降 保育料無料化事業 ●ファミリー子育て応援パスポート事業 等 基本方針1-③子育て環境の充実 働きながら子育てできる環境づくりを促進するとともに、地域や社会全体で子育てを支えるまちづくりを目指します。 事業 ●育メン・育ママ推進事業 ●GOGO キッズランド屋外整備事業 等 基本方針2-①特色ある教育 寺子屋事業や英語教育を通して、豊かな人間性と確かな学力を身に付けられるよう、教育の充実を図ります。 事業 ●バイリンガル育成事業 等				基本方針1-①新しい力による農業の振興 新たな農業の担い手育成や生産技術向上への支援などを行い、農業の経営基盤や五泉ブランドの強化・充実を図ります。 事業 ●五泉で農業やってみ隊支援事業 ●さといも栽培省力化推進事業 等 基本方針1-②産学官連携による農業の振興 新潟大学や農家、企業と連携し、農産物の高付加価値化や新大＆五泉ブランドとしての商品化、研究・開発を進めます。 事業 ●新大＆五泉ブランド化事業 基本方針1-③五泉ニットの活力・魅力向上 全国屈指のニット産地として、技術の継承や企画力強化に向けた人材育成、販路開拓により地域ブランドの確立を目指します。 事業 ●五泉ニット製品開発事業 ●五泉ニット地域ブランド化事業 基本方針2-①多様な就業環境の創出 若年者の就労に向けた支援や取組を進めるとともに、企業支援や五泉の資源を活かした企業誘致により、雇用の創出を図ります。 事業 ●20歳のための地元ハローワーク事業 ●ごせん起業家応援事業 等 基本方針2-②地場産業育成・支援 地場産業の育成による地域経済の活性化や雇用の創出、農業の生産性向上による農業の活性化、魅力向上を図ります。 事業 ●経済活性化推進事業 等			基本方針1-①地域資源の活用と観光の推進 多彩な地域資源を活かしたイベント実施によって通年的に人の流れをつくり、継続的な交流・観光を推進します。 事業 ●グルメイベント事業 ●五泉ライド事業 等 基本方針1-②シティブロモーションの推進 情報発信の強化により、五泉市のイメージ・知名度の向上を図り、交流人口拡大、移住・定住者の増加を目指します。 事業 ●五泉市プロモーション事業 ●観光振興事業（観光PR事業） 基本方針2-①移住・定住の促進 若い世代のU・Iターンを促進するための取り組みを強化し、転出の抑制と移住・定住者の増加を目指します。 事業 ●Uターン・Iターン等促進事業 ●ウェルカムファミリー住まいる事業 ●地域おこし協力隊事業 等 		基本方針1-①防災力の強化 市民の防災意識や防災力の向上を図るため、各種防災訓練や災害情報の収集・発信機能の強化を行います。 事業 ●マイ消防団パスポート事業 等 基本方針1-②健康長寿の推進 生涯にわたり健康に暮らせるよう、健康づくりの推進や健康診査・がん検診への継続した取り組みなどを行います。 事業 ●ごせんまるごとヘルシーガイドブック事業 等 基本方針1-③地域医療の充実 誰もがいつでも身近なところで医療を受けられるよう、地域医療・救急医療体制の確保・充実を図ります。 事業 ●救急医療対策事業 基本方針1-④次世代の地域リーダーの育成 未来のまちづくりを担う次世代の地域リーダーの育成、地域づくりや地域の活性化、交流拡大を図ります。 事業 ●元気出せごせん 若者ワークショップ事業 等 基本方針1-⑤公共交通の利便性向上 公共交通の利用促進に取り組み、市内公共交通の維持・確保及び利便性の向上を図ります。 事業 ●地域公共交通活性化・再生総合事業 等	